



Keyword : バリアフリー / 福祉のまちづくり / ユニバーサルデザイン / 人間生活工学

佐藤 克志 研究室  
Katsushi Sato Lab.

Profile

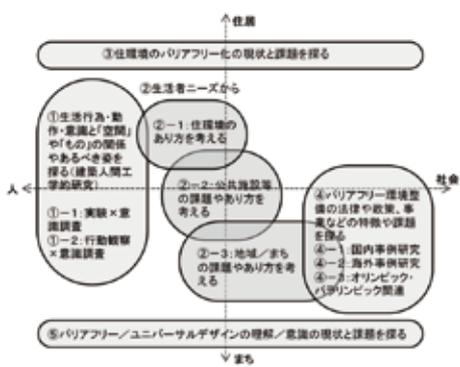
- 1990 建設省建築研究所第四研究部住宅建設研究室
- 1995 国連・アジア太平洋経済社会委員会 JICA 専門家
- 1998 建設省建築研究所第四研究部工業生産研究室室長
- 1999- 日本女子大学家政学部住居学科 准教授
- 2016- 日本女子大学家政学部住居学科 教授

Works

- 2010 アジア諸国のバリアフリー整備に関する研究 福祉のまちづくり研究 2010
- 2013 「福祉のまちづくりの検証—その現状と明日への提案—, 福祉のまちづくり学会編 (分担執筆), 彰国社
- 2016 「アジア諸国の建築物バリアフリー環境整備に関する法制度体系、福祉のまちづくり研究 2016

バリアフリー、ユニバーサルデザインの視点から

佐藤研究室では、これからの高齢社会において高齢者・障がい者を含むすべての人が安全かつ安心して生活をしていくためには何が必要なのか、住宅やまちはどうあるべきかについて、公的研究機関や民間企業、地方自治体と協力しながら研究活動、社会活動を行っています。



卒業研究・修士研究のテーマ

佐藤研究室の研究活動のテーマは「バリアフリー・ユニバーサルデザイン」「福祉のまちづくり」が中心になっています。

これまでの卒業研究や修士研究のテーマは

- ① 生活行為・動作・意識と「空間・もの」の関係やあるべき姿を探る
  - ② 高齢者や障がい者を含む生活者のニーズから住環境や公共施設、地域・まちの課題やあり方を考える
  - ③ 住環境のバリアフリー化の現状と課題を探る
  - ④ 国内、海外のバリアフリー環境整備の法律や政策、事業などの特徴や課題を探る
  - ⑤ バリアフリー・ユニバーサルデザインの理解や意識の現状と課題を探る
- などに分類できます。それらを「人—社会」軸と「住居—まち」軸で位置づけると左の図のようになります。以下にそのうち2つの例を紹介します。

研究①「生活行為・動作・意識と「空間・もの」の関係やあるべき姿を探る」の事例

2014年、2016年には「路面性状の違いによる車椅子の走行感覚と景観評価の関係性に関する研究」を行いました。これは「バリアフリー改修によって街並み景観が損なわれるのではないか」といった議論をうけて実施されたものです。具体的には、走行時の振動(=物理量)、走行時の感覚(=官能評価)、街路空間の景観(=景観評価)の関連性を探り、本当に「バリアフリー改修によって街並み景観が損なわれるのか」を明らかにしようとしたものです。結果として、車椅子移動時の振動が大きくなると、利用者は「不安定」「粗い」「激しい」「不規則」等を感じ、そのような路面を持った街路景観は「古い」「雑然」「汚い」「暗い」などのイメージを想起させること、逆に車椅子使用者が「安定」「穏やか」「規則的」に通行できる路面の街路景観は「新しい」「すっきり」「清潔」と評価されていることがわかりました。



研究④「海外事例研究」

海外のバリアフリー環境整備の事例研究として、佐藤研究室では特にアジアを対象として調査・研究を実施しています。近年では中国、タイ、フィリピン、シンガポール、香港、インドネシア、マレーシアなどを対象とし、バリアフリー環境整備の歴史の変遷から促進要因と阻害要因を探ることにチャレンジしています。

また、佐藤先生は JICA 専門家として、ヨルダンやモンゴルのバリアフリー環境整備についての支援を行っており、今後それらの国が研究対象に加わるかもしれません。



写真上段左：マレーシアの障害者リーダーとのディスカッション風景  
上段右：佐藤先生が参加したモンゴルでのアクセスサーベイの様子  
下段：ヨルダン労働省前のスロープ改修 Before(左) After(右)  
※佐藤先生のアドバイスによってデザインされた

主な卒業論文・修士論文

- 修士論文：「ユニバーサルデザインに配慮したレバー式ドアハンドル形状に関する研究」 石川 朋佳 市川 秀美 2014年度
- 卒業論文：「競技施設におけるアクセシブルトイレに関する研究—東京オリンピック・パラリンピックに向けて—」 大川 真由美 2015年度
- 「鉄道路線間における乗り換え経路の移動のしやすさに関する研究—車いす使用ルートと通常ルートの比較—」 黒木 絵美里 2015年度
- 「外国人を対象とした案内サイン環境整備に関する研究—観光地における現状と課題—」 大谷 香陽 2014年度
- 「郊外型住宅団地における高齢者の生活ニーズと居住継続要件」 石原 万智子 篠原 茉莉奈 2013年度